

第10回いばらきっ子郷土検定県大会

知って 好きになって 自慢する！



大子町立大子西中学校



大洗町立南中学校



城里町立桂中学校



東海村立東海中学校



茨城町立明光中学校



小美玉市立小川北義務教育学校



水戸市立内原中学校



那珂市立第二中学校



笠間市立笠間中学校



常陸大宮市立大宮中学校



ひたちなか市立田彦中学校

活躍を祈っています！
ゲストコーナーで
岡部 麟さん



郷土への愛着と誇りを高め、郷土愛を醸成するとともに本県の魅力を広く発信しようと、いばらきっ子郷土検定県大会が、2月4日（土）、ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールにおいて3年ぶりに開催されました。市町村代表校44校及び国立・県立・私立の代表校1校、計45校が中学2年生3名でチームを編成し、早押しクイズなど学校代表対抗戦に臨みました。水戸教育事務所管内からは、写真の11校が参加しました。

開会行事の中で、小野寺俊副知事が「今まで学習した成果を存分に発揮して白熱した大会になることを期待している。郷土のことを知って、好きになって、自慢してほしい。」と励ましました。各チームは、その期待に応える熱戦を展開し、大洗町立南中学校は、見事、準決勝進出を果たしました。

決勝戦前に行ったゲストコーナーでは、いばらき大使でありAKB48チーム8のメンバーである岡部麟さんが「ちょっとした傷や痛みは、家族や友達と分かち合い、夢に向かっていってほしい。プレッシャーを乗り越えてほしい。楽しむことを一番に頑張ってください。」と笑顔で生徒たちに呼びかけました。

表彰式では、森作宜民教育長が講評を行い、敗者復活から立ち上がった勝者に拍手を送るとともに、「参加した45校それぞれが、これまでの努力があふれた素晴らしい戦いであった。仲間とチームを組み、競い合って大会を作ることができた。これからも、いろいろなことにチャレンジし仲間とともに経験を積んでほしい、地域のことを知って発信してほしい。」と期待を込めました。